

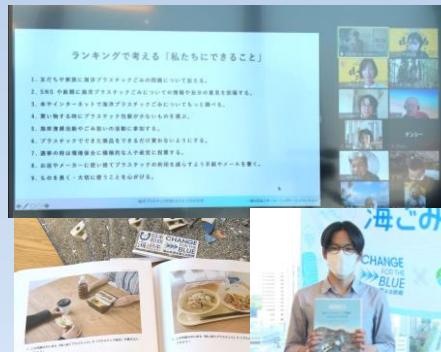
2021年度 成果

千葉県実行委員会として、「海ごみをゼロにするための人材育成」。「ごみを減らす仕組みづくり」を目標に6つの事業に取り組んだ。まず、ビジネスコンテストではVenture Café Tokyoと連携しロケットピッチを実施。オンラインとリアルで1000人以上の参加者が集まり、海洋ごみ削減につながるユニークなアイデアが発表された。また、海洋ごみ授業講座では、海洋プラスチックについて学ぶ教材を作成し、学校の先生たちとどうしたら海洋ごみを減らせるか考え人材の育成に尽力した。その他にも、海ごみゼロキッズパークでは子供たちに楽しみながら海の課題について学んでもらい、海について関心を持ってもらえるよう取り組んだ。今年度の取り組みで繋がった企業は約60社にも上り、海ごみゼロのムーブメントが加速した。



ビジネスコンテスト

株式会社ケーヨー、ZOZOPARK HONDA、KDDIなどと協力し、ビジネスコンテストを実施。32組の登壇者がピッチを行い、オンラインで100名超の視聴者が集まった。



海洋ごみ授業講座

小学生・中学生を対象とした教材開発を実施。授業をできるように教員へオンラインで教材活用方法を指導。



清掃活動

元プロサッカー選手カレンロバートと一緒にごみ拾い、SUPをしながらごみ拾いなど清掃活動を多数実施。



海ごみゼロキッズパーク

体を動かしながら海の課題を学ぶイベント。約500名が参加した。ZOZOPARK連携。

その他：スポGOMI甲子園、優良企業評価企画等を実施中

メディア露出



10/5「モーニングこんぱす」



11/10「モーニングこんぱす」



6/11「モーニングこんぱす」



11/15「モーニングこんぱす」

その他：TV11本 告知177本 WEB34本 新聞1紙 掲載

2021年度の課題とこれからの展望

新型コロナウイルス感染拡大により、海沿いの施設や公園、海岸等も封鎖され清掃活動や大型のイベントを実施できなかった。海洋ごみ授業講座やビジネスコンテストなど、リアルイベントからオンラインイベントに変更したが、その後のアクションにつながったかが課題となる。一方、ビジネスコンテストでは走りながら清掃をするプロギングステーションなど、ごみ削減につながる面白い案が複数でており、2022年度に社会実装できるよう、引き続き活動を続けていく。今後についてはビジコンのアイデアを通して、県内の大学、企業、自治体と協力し、千葉県の海洋ごみ削減に挑む。